

自分で
直せる

よくある 相談事例集

サインポスト編

錠を
交換したい！

取り出し口
ふたを
交換したい！

チャイムの
押ボタンスイッチを
押せないように
したい！

照明の電球を
交換したい！



はじめに

- 本マニュアルは、お客様ご自身でメンテナンスいただける内容を集めた事例集です。
お手入れや、商品に備わっている調整機能により改善できる現象をまとめています。
- 難しい場合はお買い上げの販売店、もしくは裏表紙の「修理ご相談窓口」へご用命ください。

パナソニック 住まいの設備と建材 WEB サイトのご紹介

トップページ ※画面は2017年3月現在



お客様サポートのページ



目的から探す

よくあるご質問 (FAQ) > 皆様から一般的に寄せられるご質問と回答を掲載しております	お手入れ 日常のお手入れ方法や動画でのお手入れ方法などがご覧いただけます > お手入れ情報 > お手入れ・取付け動画を見る	修理 自分で行える修理方法のご紹介や修理のご相談を電話やインターネットで受け付けを行っております > 自分で行える修理 > 修理のご用命 > LED電球 5年保証制度
消耗品・部品 > 部品・消耗品を購入する (ハイ・パーツショップ)	カタログ > WEBカタログを見る > カタログを請求する	図面・説明書 > 商品仕様図・取扱説明書・施工説明書などがご覧いただけます

検索 住まいの設備と建材

<http://sumai.panasonic.jp/>

クリックでWEB サイトへ

お客様サポート

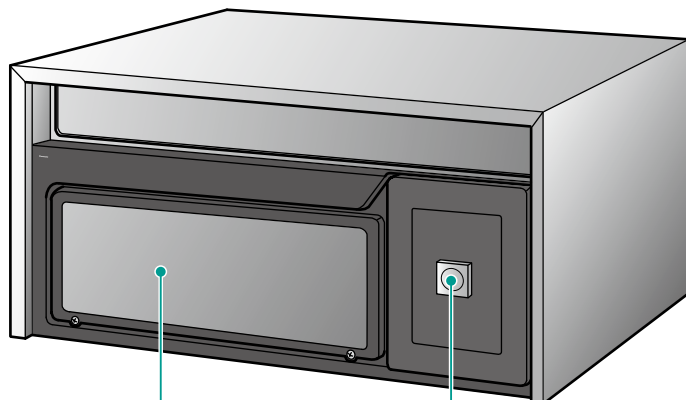
QRコードを読み取ってアクセス



もくじ

🔍 見出しをクリック（タップ）すると、ページへ移動します。

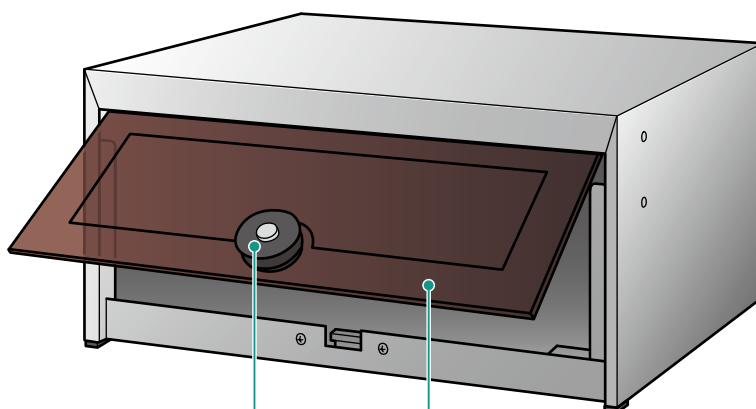
前面



照明の電球を交換したい！
…14ページ

チャイムの押ボタンスイッチを
押せないようにしたい！
…15ページ

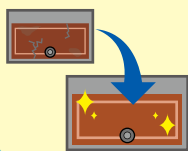
背面



錠を交換したい！
…12ページ

取り出し口ふたを交換したい！
…4ページ

症状 1



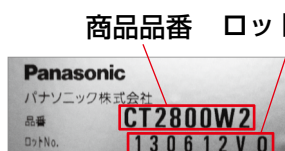
取り出し口ふたを
交換したい！



チェック！ ポストの商品品番を確認してください。

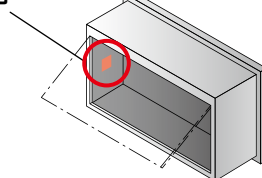
対応 下表からポストに対応する取り出し口のふたを準備してください。

商品品番の確認場所

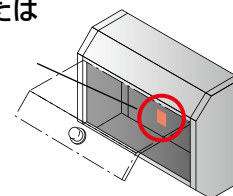


商品品番 ロット No.

取り出し口ふたを開けて、
左側面に貼付



取り出し口ふたを開けて、
正面中央付近または
下端右側に貼付



補修用部品一覧表

2017年4月現在

施工区分	商品名	商品姿図(前面)	商品姿図(後面)	商品品番	補修部品品番	セルフメンテ	色記号(□)
玄関埋込 タイプ	KC型			CT180□	CT1800211		A・H・S・W
				CT181□	CT1810211		
埋込専用 タイプ	ES型			CT590	CT651101K	●	
	FF型			CTA176□		●	B・S
				CTA177□		●	BL・SL
				CTA178□		●	
				CTA179□	●	B・S	
	FF型 2ブロック			CTA1772□	CT651201K	●	BL・SL
				CTA1773□		●	
	GSA型			CT560□	CT651101K	●	B・H
	CTB560□			CT651102	●		
	GSB型			CT561□	CT651101K	●	B・H
				CTB561□	CT651102	●	
	GSC型			CT562□	CT651101K	●	B・H
CTB562□				CT651102	●		

次ページへつづく⇒

施工区分	商品名	商品姿図(前面)	商品姿図(後面)	商品品番	補修部品品番	セルフメンテ	色記号(□)	
埋込専用 タイプ	GS型 2ブロック			CT5622□	CT651201K	●	B・H	
				CT5623□		●		
				CTB5622□	CT651202	●	B・H	
				CTB5623□		●		
	PE型			CT480□	CT651101K	●	A・B・S	
				CTB480□	CT651102	●		
	SPA型			CT47□	CT651101K	●	0・0B	
	CTB47□			CT651102	●			
	SPB型	CT47□	CT651101K	●	1・1B			
	CTB47□			CT651102		●		
	TV型			CTA400GS□	CT651101K	●	1・2	
				CTA401GS□		●	1・1K	
				CTA402GS□		●	1K・2・2K	
CTA403GS□				●		1・2		
ロマンアSA型			CT305□		●	G・M・W		
埋込・ポール 取付両用 タイプ	UNISUS 注1 全タイプ共通1B 機能記号 ▲…1、2、3			CTB(R)761▲□	CT651102	●	TB・SC・ WS・MA	
				CTB(R)771▲□				
				CTB(R)781▲□				
				CTC(R)761▲□				
				CTC(R)771▲□				
				CTC(R)781▲□				
	UNISUS 注1 全タイプ共通2B 機能記号 ▲…1、2、3			CTB(R)762▲□	CT651202	●	TB・SC・ WS・MA	
				CTB(R)772▲□				
				CTB(R)782▲□				
				CTC(R)762▲□				
				CTC(R)772▲□				
				CTC(R)782▲□				
	CSB型			CT313□	CT651101K	●	A・B・S	
	CT312□			●		A・B・S		
	CT310□			●				
	CSE型			CT311□	CTB310□	CT651102	●	A・B・S
							●	
							●	
	CSB8W型	CTB313□	CT651102	●	A・B・S			
	CTB312□			●	A・B・S			
	CTB314□			●	A・B・S			
	EM型			CT3720H	CT651201K	●	A・B・S	
				CTB3720H	CT651202	●		
HSA型			CT502□	CT651101K	●	A・B・S		
CT503□			●		A・B・S			
HSD型			CT505□		●	A・B・S		
HS型 2ブロック			CT5052□	CT651201K	●	A・B・S		
			CT5053□		●			
SSA型			CT57□	CT651101K	●	0・0B		
CTB57□			CT651102	●				
SSB型			CT57□	CT651101K	●	1・1B		
			CTB57□	CT651102	●			
SSE型			CT58□	CT651101K	●	0・0B		
			CTB58□	CT651102	●			

次ページへつづく⇒

施工区分	商品名	商品姿図(前面)	商品姿図(後面)	商品品番	補修部品品番	セルフメンテ	色記号(□)
<div>埋込・ポール 取付両用 タイプ</div> <div></div> <div></div> <div>埋込専用 タイプ (口金型)</div> <div></div>	ニューL型			CT4710	CT471001		
				CT472□			O・OB
	ニューM型			CT373□	CT651201K	●	1・1B
				CTB373□	CT651202	●	
	VH(VM)型			CT2500□M	CT250010		ME・B・ S・H
	VHD(VMD)型			CT2501□M(L)	CT250110		
	コンボB			CT6110□	CT651101K	●	B・S
				CT6112□	CT651201K	●	
				CT6116□		●	
	ロマノア C型			CT6050□	CT651101K	●	G・M・W
				CT6051□		●	
				CT6052□	CT651201K	●	
				CT6053□		●	
	NK型			CT6562□	CT6562004		A・B・S
				CT6563□			
	NNK型			CT6570□	CT6560012		A・B・S・W
				CT6571□			
				CT6572□			
				CT6573□			
				CT6580□	CT6560013		
				CT6581□			
				CT6582□			
	K型			CT6510□	CT651101K	●	A・B・M・ MB・MH・ MR・MW・ S・T・W
				CT6511□		●	
				CT6512□	CT651201K	●	
				CT6513□		●	A・B・M・ S・T・W
				CT6516□		●	
				CT6517□		●	A・B・S・W
				CT6518□		●	
				CT6519□		●	A・B・M・ MZ・BG・ S・T・W
				CTB6510□	CT651102	●	
				CTB6511□		●	
				CTB6512□	CT651202	●	
				CTB6513□		●	
				CTB6516□		●	
				CTB6517□		●	A・B・S・W
				CTB6518□		●	
				CTB6519□		●	

次ページへつづく⇒

施工区分	商品名	商品姿図(前面)	商品姿図(後面)	商品品番	補修部品品番	セルフメンテ	色記号(□)
埋込専用 タイプ (口金型) 	R型			CT6500□	CT651101K	●	A・B・M・ S・T・W
				CT6501□		●	
				CT6502□		●	
				CT6503□	CT651201K	●	
				CT6506□		●	
				CT6507□		●	
				CT6508□		●	
				CT6509□		●	
						CTB6500□	CT651102
			CTB6501□		●		
			CTB6502□		CT651202	●	
			CTB6503□			●	
			CTB6506□			●	
			CTB6507□			●	
			CTB6508□			●	
			CTB6509□			●	
			MS型 注1			CTB(R)6520□	CT651102
	CTB(R)6521□	●					
	CTB(R)6522□	CT651202				●	
	CTB(R)6523□					●	
	CTC(R)6520□	CT651102				●	
	CTC(R)6521□					●	
	CTC(R)6522□	CT651202				●	
	CTC(R)6523□					●	
	EU型 注1			CTB(R)6530□	CT651102	●	W2・ME・ G・N
				CTB(R)6531□		●	
				CTB(R)6532□	CT651202	●	
				CTB(R)6533□		●	
				CTC(R)6530□	CT651102	●	
				CTC(R)6531□		●	
				CTC(R)6532□	CT651202	●	
				CTC(R)6533□		●	
	SC型			CT6535□	CT6537001K	●	A・B・S・W
	SF型			CT6545□		●	A・B・S・W
	壁掛けタイプ 	B1型			CT671S	CT670S03	
CT670S							
BR型				CT691□	CT690□01		B・S・Y
				CT690□			
メールバック				CT642	CT64201		
				CT642B			
				CT662			

※商品の生産終了後7年以上経過の場合は、補修部品が供給できないことがあります。
あらかじめご了承ください。

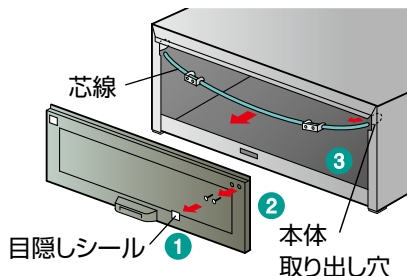
注1 「R」表示品番は価格改定品です。

次ページへつづく⇒

交換方法（芯線タイプの場合）

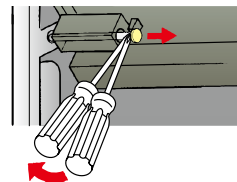
取り外しかた

- 1 片側の目隠しシールをとる
カッターナイフでシールの端を引っ掛けると外しやすくなります。
※目隠しシールのないタイプもあります。
- 2 取り出し口ふたを本体から取り外す
- 3 芯線を曲げて、本体取り出し穴より芯線を外す



●ピンタイプの場合

- 1 マイナスドライバーで片側のピンの頭を外す
- 2 取り出し口ふたを本体から取り外す



取り付けかた

※取り出し口ふたは芯線タイプよりピンタイプに仕様変更しており、色も機種により変更しております。

取り出し口ふたセット（セルフメンテナンス部品）

1Bサイズ用
CT651101K

2Bサイズ用
CT651201K



部材のご購入はハイ・パーツ
ショップでお取り扱いしております。

ハイパーツショップ 検索

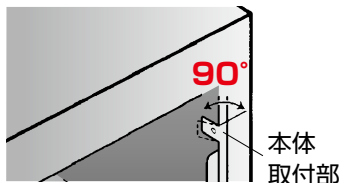
クリックで
WEBサイトへ

●対象商品(全て旧商品)

口金K型、R型、CS型、HS型、SS型、GS型、SP型、PE型、ES型、ロマノアSA型、NM型、EM型

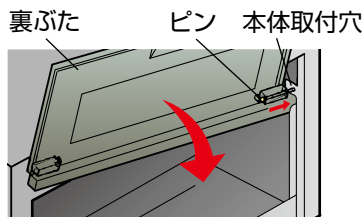
1 取り付け前の確認

下図の様に、本体取り付け部が90°であることを確認してください。90°でない場合は、両側共、約90°になるように曲げてください。



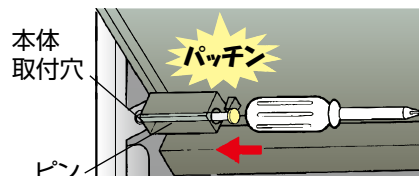
2 取り出し口ふたを本体に差し込む

ピンが取り付けしている側を本体
取付穴に合わせて差し込む。



3 残りの片側のピンを差し込む

反対側の本体取付穴に合わせて
ドライバーの柄などを用いてピンの
頭を軽く押し込む。
※一度挿入したピンは抜かないでください。



使用する
道具



プラス
ドライバー



マイナス
ドライバー

取り出し口ふた（芯線タイプ）の交換方法については、WEBサイトに動画を掲載しています。

クリックで
WEBサイトへ

QRコードを
読み取って
アクセス

動画を見る



交換方法（錠取付けタイプの場合）



警告

- ツメを折る際は、必ずセロハンテープで覆う
折れたツメが飛んでけがをするおそれがあります。



注意

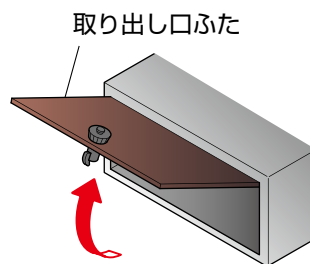
- 交換の際は軍手を着用する
けがをするおそれがあります。
- 指定の商品以外は使用しない
本体や部品の破損などでけがをするおそれがあります。
- ピンを叩き込む際は、ポスト側面に手を添える
ピンに手を添えて叩くと、指を叩いてけがをするおそれがあります。

取り出し口ふたの取り外し

※ポスト内の郵便物は取り出してから、取り出し口ふたの交換を行ってください。

1. 錠を取り出し口ふたから取り外す

1 取り出し口ふたを開く



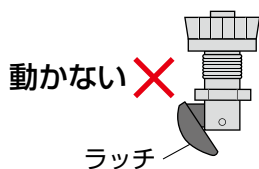
2 錠を解錠状態にする

※施錠状態のときは
ラッチが可動しません。

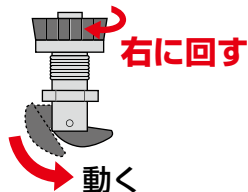
●ワンロック錠の場合

つまみ部を右に回し、セロハンテープで
固定する

施錠状態



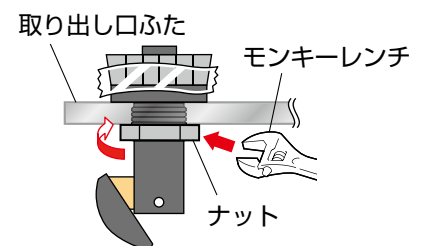
解錠状態



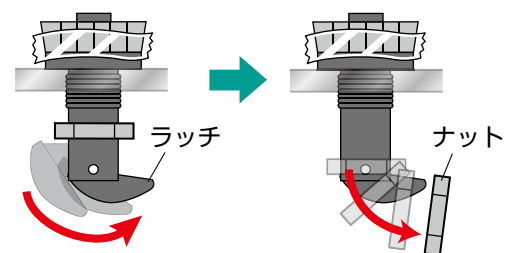
●ダイヤル錠の場合

ダイヤルの解錠番号を合わせる
※セロハンテープは使用しません。

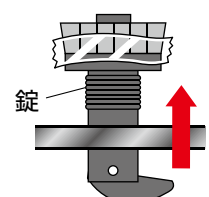
3 ナットをモンキーレンチで緩める



4 ラッチを押さえながらナットを引き抜く



5 ラッチを押さえながら錠を引き抜く



2. 取り出し口ふたをポスト本体から取り外す

1 ツメ部を覆うようにセロハンテープを貼り付ける

※取り出し口ふたの左右の支点到ツメがあります。

2 ツメ部（樹脂）をニッパーで折る

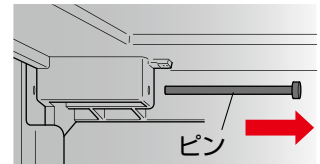
ニッパーでツメをはさみ、
左右に何度か動かして
ツメを折ってください

※反対側も同様に、ツメを
折ってください。

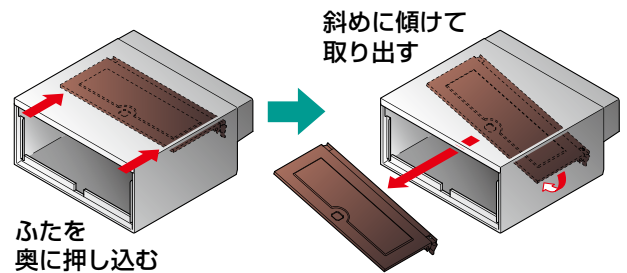


3 ピンを引き抜く

4 反対側も同様に ピンを引き抜く



5 取り出し口ふたを取り外す



警告

● ツメを折る際は、必ずセロハンテープで覆う

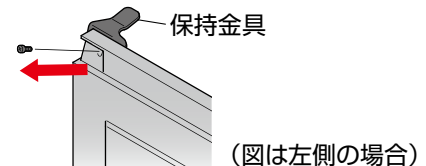
折れたツメが飛んでけがをするおそれがあります。

3. 保持金具を取り出し口ふたから取り外す

保持金具が取り出し口ふたのどちら側についているか確認し、
取り付ける際は**必ず取り付けてあった側へ**取り付けてください。

保持金具の固定ねじをプラスドライバーでゆるめる

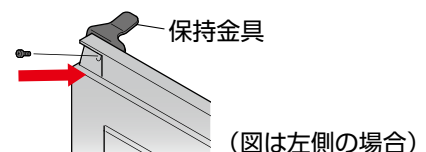
※固定ねじは新しい取り出し口ふたを取り付けるときに再使用しますので、
なくさないようにご注意ください。



交換用取り出し口ふたの取り付け

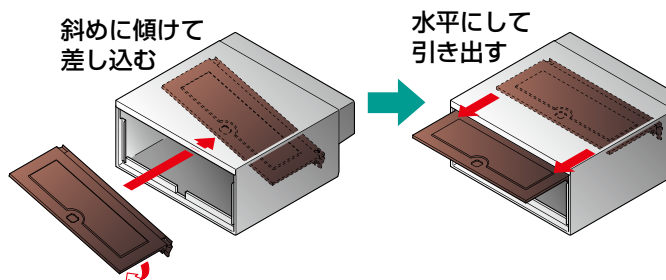
4. 新しい取り出し口ふたに保持金具を取り付ける

保持金具を固定ねじで取り付ける

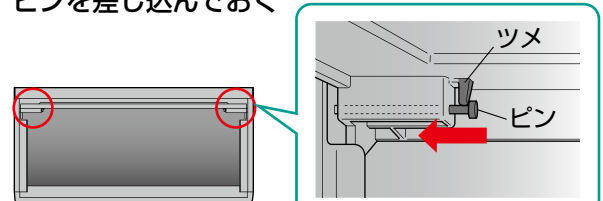


5. 新しい取り出し口ふたをポスト本体に取り付ける

1 取り出し口ふたを取り付ける

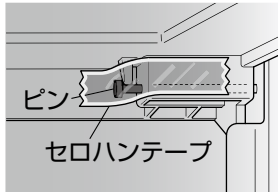


2 左右の取り出し口ふたの支点到、ツメの手前まで ピンを差し込んでおく

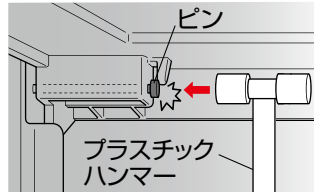


※この時点で取り出し口ふたをスムーズに
開閉できるか確認してください。

- ③ ピンが振動で落ちないように片方のピンをセロハンテープで仮止めする



- ④ プラスチックハンマーで、ピンの頭だけを数回軽く叩いて押し込む
※ツメ部は折れないようにご注意ください。
※一度取り付けると取り外しができないため、慎重に行ってください。



- ⑤ 反対側のセロハンテープを剥がし、プラスチックハンマーでピンを押し込む



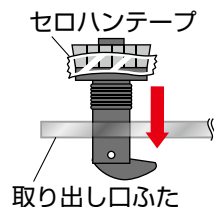
注意

- ピンを叩き込む際は、ポスト側面に手を添える

ピンに手を添えて叩くと、指を叩いてけがをするおそれがあります。

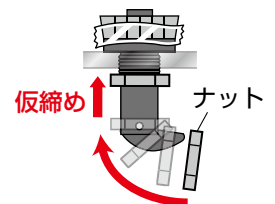
6. 取り出し口ふたに錠を取り付ける

- ① 錠のつまみ部にセロハンテープを貼り、解錠状態を保つ
※ラッチの向きに注意してください。

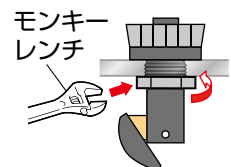


- ② 取り出し口ふたに錠を差し込む

- ③ ラッチを押さえながら錠にナットを通して手で仮締めし、セロハンテープを剥がす



- ④ モンキーレンチでナットを固定する



7. 交換後の確認

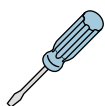
確認項目

- ① 錠が取り出し口ふたに確実に固定されているか？
② 取り出し口ふたが問題なく開閉できるか？
③ 施錠はできるか？

使用する道具



プラスドライバー



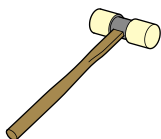
マイナスドライバー



セロハンテープ
※幅15mm以上



ニッパー



プラスチックハンマー

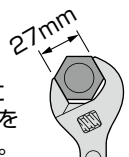


軍手



モンキーレンチ

※モンキーレンチは開口寸法27mmに対応しているものを準備してください。



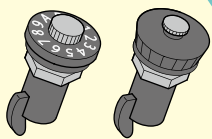
取り出し口ふた（錠取付けタイプ）の交換方法については、WEBサイトに動画を掲載しています。

クリックで
WEBサイトへ

QRコードを
読み取って
アクセス

動画を見る





錠を交換したい！ (ダイヤル錠・ワンロック錠)



⚠ 注意

- 交換の際は軍手を着用する
けがをするおそれがあります。
- 指定の商品以外は使用しない
本体や部品の破損などでけがをするおそれがあります。

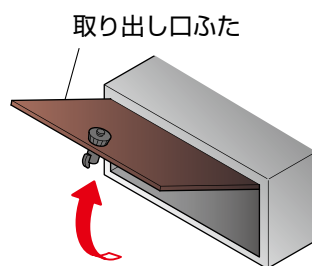
錠の交換方法

※ワンロック錠 から ダイヤル錠 へ交換する場合を記載しています。

既存のワンロック錠の取り外し

1. 既存のワンロック錠を取り外す

1 取り出し口ふたを開く



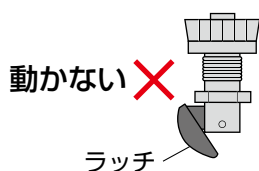
2 錠を解錠状態にする

※施錠状態のときは
ラッチが可動しません。

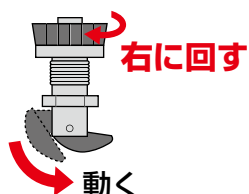
●ワンロック錠の場合

つまみ部を右に回し、セロハンテープで
固定する

施錠状態



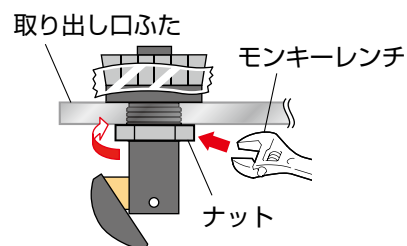
解錠状態



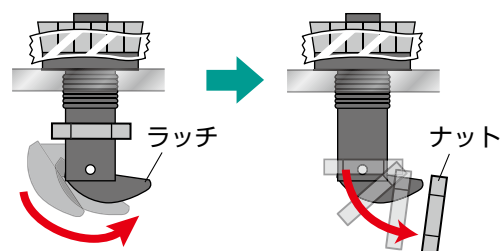
●ダイヤル錠の場合

ダイヤルの解錠番号を合わせる
※セロハンテープは使用しません。

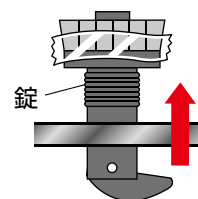
3 ナットをモンキーレンチで緩める



4 ラッチを押さえながらナットを引き抜く



5 ラッチを押さえながら錠を引き抜く



交換用ダイヤル錠の取り付け

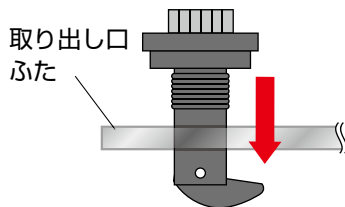
2. 交換用ダイヤル錠を取り付ける

1 錠を解錠状態にする

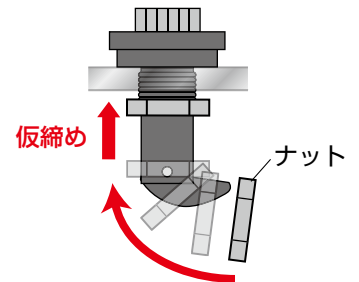
- ※施錠状態のときはラッチが可動しません。
- ※ダイヤル錠の場合はセロハンテープは使用しません。
- ※解錠方法は、ポストの取扱説明書をご確認ください。

2 取り出し口ふたに錠を差し込む

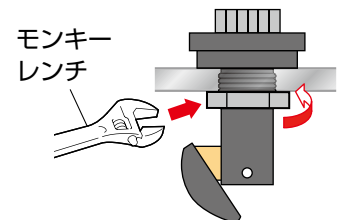
- ※ラッチの向きに注意してください。



3 ラッチを押さえながら錠にナットを通して手で仮締めする



4 モンキーレンチでナットを固定する

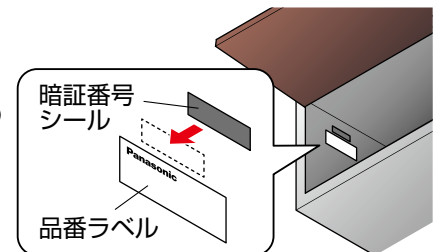


3. 交換後の確認

確認項目

- 1 錠が取り出し口ふたに確実に固定されているか？
- 2 取り出し口ふたが問題なく開閉できるか？
- 3 施錠はできるか？

※ダイヤル錠に同梱されている暗証番号シールを品番ラベルの上にはり付けてください。



使用する道具



プラスドライバー



マイナスドライバー



セロハンテープ
※幅15mm以上

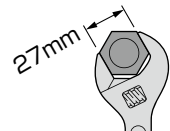


軍手



モンキーレンチ

※モンキーレンチは開口寸法27mmに対応しているものを準備してください。



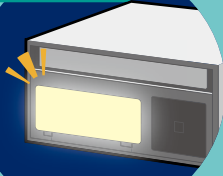
ワンロック錠・ダイヤル錠の交換方法については、WEBサイトに動画を掲載しています。

動画を見る

クリックで
WEBサイトへ

QRコードを
読み取って
アクセス





照明の電球を交換したい！



●対象商品

CS型



GS型



SS型



SP型



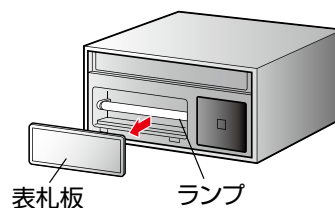
対応

下記のいずれか方法で電球を交換してください。

電球の交換方法

●表札板の奥にある場合

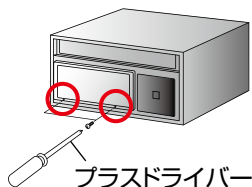
正面の表札板を外し、ランプまたはグロー球を交換する



表札板の外しかた

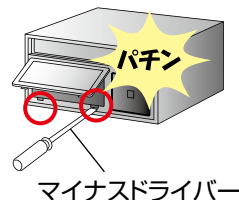
●表札板をねじ止めしているタイプ

下2か所、または上下2か所
ずつの合計4か所をプラス
ドライバーでねじを外して
表札板を取り外してください。



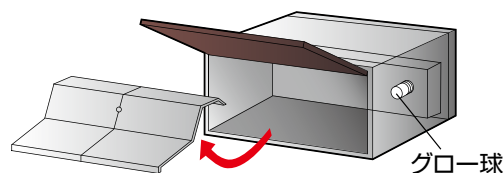
●ねじがないタイプ

表札板下部の左右2か所
にあるマイナスの切れこみ
へマイナスドライバーを
差し込んで上へ持ち上げて
表札板を外してください。



●仕切板の奥にある場合

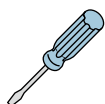
取り出し口ふたを開け、中仕切板のねじを外して
中仕切板を前に押しながら持ち上げる
その下にグロー球があります。



使用する
道具



プラス
ドライバー



マイナス
ドライバー

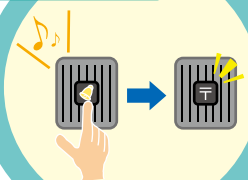
表札板の取り外しと電球の交換方法については、WEBサイトに動画を掲載しています。

動画を見る

クリックで
WEBサイトへ

QRコードを
読み取って
アクセス





チャイムの押ボタンスイッチを押せないようにしたい！



●対象商品

GS型



SS型



SP型



対応

補修部品を使用し、押してもへこまないようにできます。

GS型用

押ボタン化粧板（別売）
CT560B03（ブラック）または
CT560H03（グレー）



+



SS型用

押ボタン目隠し化粧板セット
CT9901（ブラウン）
CT9901B01（ブラック）



部材のご購入はハイ・パーツ
ショップでお取り扱いしております。

ハイパーツショップ

検索

クリックで
WEBサイトへ

チャイム用ボタンの取り外しかた（サインポストニューM型を例に交換方法を説明しています）

- 1 押しボタンパネルの
ねじを外す（1か所）



- 2 押しボタンパネルを
ポストから取り外す



- 3 チャイム用配線
を取り外す

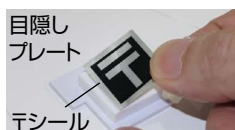


- 4 押しボタンパネルからチャイム
用押しボタンを取り外す



補修部品の取り付けかた

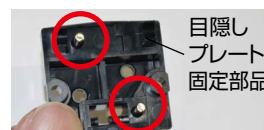
- 1 目隠しプレートに
テシールをはる



- 2 押しボタンパネルに目隠し
プレートを入れる



- 3 目隠しプレート固定部品に
ピンを2本差し込む



- 4 押しボタンパネルに目隠し
プレート固定部品をはめ込む



- 5 目隠しプレート固定部品を押しボタ
ンパネルにねじで固定する（2か所）



- 6 押しボタンパネルを
ポストに固定する



使用する
道具



プラス
ドライバー

商品の情報はホームページでご確認ください。

パナソニック 住まい

検索

sumai.panasonic.jp

お客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせ



パナソニック
0120-878-709

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「8」と「4#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

●左記番号がご利用
いただけない場合

06-6906-1109

※携帯電話・PHSからも
ご利用になれます。

●FAX



0120-872-460

パナソニック 住まい サポート

検索

http://sumai.panasonic.jp/support/

【受付時間】365日／9:00～20:00

修理のご用命



パナソニック
0120-872-150

sumai.panasonic.jp/support/repair/

●左記番号がご利用
いただけない場合

06-6906-1090

※携帯電話・PHSからも
ご利用になれます。

消耗品・交換部品・
後付パーツの
ご用命



パナソニック
0120-055-802

ハイ・パーツショップ

検索

●左記番号がご利用
いただけない場合

06-6906-1224

※携帯電話・PHSからも
ご利用になれます。

※GW休暇・夏季休業・年末年始はお休みまたは受付時間を変更させていただく場合があります。
※ビジネスのお客様はお取引先の販売ルートへお問い合わせください。

https://sumai.panasonic.jp/parts/

【受付時間】月～金／9:00～19:00 土・日・祝日／9:00～17:00

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

パナソニックと誤認させて、電話勧誘したり、強引に販売する住宅設備・建材の訪問販売業者にご注意ください。

訪問販売や電話勧誘販売は消費者保護を目的とした法律※の適用を受けます。 ●特定商取引法（旧訪問販売法）※ ●消費者契約法（消費者と事業者が結んだ契約全てが対象です）※

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

ホームページも
ご活用ください。

「住まいの設備と建材 サポート」 <http://sumai.panasonic.jp/support/>

「ハイ・パーツショップ」 <https://sumai.panasonic.jp/parts/>

「パナソニック 住まいの設備と建材サイト」 <http://sumai.panasonic.jp/>

保証とアフターサービスについて

詳しくは、商品同梱の取扱説明書をご確認ください。

保証について

保証期間は、お引き渡し日より下記期間です。

① 本体 ————— 2年間

修理を依頼される時

修理など、アフターサービスをご依頼される場合は、商品をお買い上げの販売店または工事店、もしくは上記のパナソニックエコソリューションズ 修理ご相談窓口にお問い合わせください。

保証期間内の修理について

保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理について

修理により機能が維持できる場合は、有償にて承ります。
(修理料金: 部品代+技術料+出張料)

修理をご依頼の際、 連絡していただきたい内容

- ・お名前、おところ、お電話番号
- ・商品名 (各取扱説明書表紙に記載)
- ・取り付け年月日
- ・不具合箇所、不具合内容 (詳しく)

発行

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社

外廻りシステムビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

© Panasonic Corporation 2017

本書からの無断の複製はかたくお断りします。

この資料の記載内容は2017年4月現在のものです。